

都市・地域に関する解析的な研究を行っています。  
住環境評価や都市構造分析などを地理情報システムや  
数値分析により探っていきます。  
心地良いまちとは…？  
それを実現するには…？

## ■ 研究テーマ ■

### ア) 住環境評価・都市構造分析

心地よいまちとはどのような状態か？  
人々の評価とまちの状態の関係がわかれば、まちづくりのヒントが  
見つかるはず。  
「まちの状態を客観的にとらえる」、「まちを客観的に評価する」  
にはどのようにすればよいのだろうか？

### イ) 住環境情報 = 不動産情報の共通化と伝達

高品質のものは需要があるので売り手も供給を増やす。  
これを市場原理という。  
まちも市場がうまく働けば良い状態が増えるはず。  
今はまだ不動産情報が消費者に十分に伝わっておらず市場が不完全な  
状態だと言われている。  
どのような情報を、どのように伝えればよいだろうか？

### ウ) 女性のライフステージと住宅需要の形

20～30代の女性は、大学卒業、就職、結婚、出産とライフステージ  
の大きな変化にともなって住まいを移す人も多い。  
居住地選択の決定権は女性が握るといわれる。  
長年の調査データから浮かび上がる女性の住宅地・住宅選択とは？

### エ) プロジェクトや社会資本の評価

まちをかえていくプロジェクトや施設の新たな設置、その効果は？  
疑問に答える一つの方法として経済的手法による便益評価がある。  
様々な施設の利用者便益、施設配置の代替案比較など、対象は多い。  
効果的なプロジェクトとは？住民にやさしい施設配置とは？

### オ) 自主テーマ

自発的なテーマ提案を歓迎します。

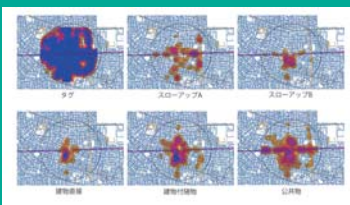
## ■ これまでの研究 ■

2009年度の卒業論文を中心に紹介します。

### ■ 市街地におけるグラフィティ分布の空間分析 —高円寺駅周辺を対象として—

研究テーマ (ア)・(オ)

グラフィティとは街に描かれる落書きのことです。この研究ではグラフィティ分布と  
都市要素との関係を分析し、ライターの行動特性を知ることが目的としました。  
高円寺駅を中心とした半径600m以内のグラフィティ分布の調査を行って得られた  
地点と数、種類のグラフィティ属性データを用いて空間分析を行った結果、ライターの  
行動特性は都市要素と関係していることがわかりました。特に駅からの距離、用途  
地域は大きな要因となっています。



グラフィティの分布密度



調査風景

### 伊藤 史子 (いとう ふみこ) 准教授・博士 (工学)

都市・地域・環境の経済評価、都市・地域解析、  
都市・地域の公共投資・社会資本・環境の評価や最適化に関する研究や、  
不動産 (とくに住宅) の需給に関する研究。



### 2008年度 卒業論文

- 市街地における自転車ルートに関するネットワーク分析  
—横浜市青葉区青葉駅周辺を対象として—
- 個人嗜好を考慮した訪問エリア選択支援システム  
—越後妻有「大地の芸術祭」を題材として—

### ■ 広場ベンチにおけるコミュニケーション利用に関する研究 —巢鴨地藏通り商店街を対象として—

研究テーマ (オ)

巢鴨地藏通り商店街はベンチが数多く設置され、そこでは高齢者が休憩したり会話を  
したりしながら利用しています。この研究ではベンチが配置されている広場を対象に  
コミュニケーションの発生状況と広場空間の形状との関係を分析します。  
結果から、広場の出入口付近で人通りを向きつつ歩行者の視線が気にならないような  
位置にベンチを配置するとコミュニケーションが発生しやすいことがわかりました。



調査対象地区  
上：高岩寺広場  
右：郵便局広場



着座状況

